

私は9月3日から9日間、さわやかハートちばクルーズセミナーに参加し上海へ行ってきました。参加の動機は、他の国での教育はどのようなものか興味を持ったからです。このセミナーは、上海での見学コースが選べ、ホームステイもでき、何となく船で行くというところが特徴だと思います。

上海に着きバスで市街に出た時、自転車のあまりの多さと回りの車の運転の荒さに驚き、ガイドさんが「上海で運転できればどの国でも運転できます」といって納得しました。

私は専門に、教育コースを選び二つの学校を見学しましたが、共通していたことは、スポーツ

日本ではできない 貴重な体験

川島由己子（大学生・古屋）

や芸術分野にも力を入れていることです。その中で生徒が興味を持っていて、そして自分自身で興味を見つけていけるような環境を整えられています。

勉強だけでなく興味を持つことはとても大切なことだと両学校の先生方は話されていました。これを聞いた時、もっともだと思いつつ同時に、日本でもこのような環境をつくってあげたらよいと感じました。

上海での2日目の夜は、2人組でホームステイをしました。私は中国語はできないのでとても不安でしたが、ホストファミリーの中で英語ができる高校生のレイチェルがいたので会話ができほっとしました。

感動したのは、本場の家庭料理で今までに食べたことのない野菜やその味を体験することが

体験レポート

潮風に吹かれながら 9日間の研修

～さわやかハートちば クルーズセミナー～

千葉県が主催する「さわやかハートちばクルーズセミナー」に、光町から川島由己子さん（大学生・古屋在住）と宮内博史さん（白浜小教諭）の2名が参加しました。

このセミナーは、次代を担う青年が豊かな国際性を身につけ、地域リーダーとしての資質を磨くため、各界のリーダーを船で中国へ派遣する事業です。



クルーズセミナーの仲間たちと（右から2番目、川島さん）

できたことです。レイチェルに学校はどうかと聞くと、朝の7時半から、夕方の5時半まで授業で、宿題がたくさんあり10時、11時までかかるといへんだというのでした。本当に厳しいけれど、自分は大学へ行き勉強したいことがあるからがんばれると彼女は言っていました。

このクルーズセミナーに参加して、多くの人との出会いがありました。実際に上海の学校が見学でき、またホームステイや、船での旅、困いと便器のないトイレに入ることができ、日本ではできない貴重な体験ができて、とてもよかったです。みなさんも機会があれば、ぜひ参加してみてください。

検察審査会とは

検察官の起訴・不起訴の決定権限の行使について、国民の声を反映させ、その一層の適正化を図ることを目的としたもので、全国の地方裁判所と主な地方裁判所支部の所在地に置かれています。当町は千葉地方裁判所八日市場支部内の八日市場検察審査会の管轄です。

検察審査員は、管内の有権者の中から選ばれ、検察官が被疑者を裁判にかけなかったこと（不起訴処分）のよしあしを審査します。

選任方法は、選挙管理委員会が選挙人名簿に基づいて、くじで候補者を選びます。その後、検察審査会事務局において、管内の市町

村から選ばれた候補者の中から、裁判官、検察官、市町村職員の立会いにより、くじで審査員を選出します。任期は6ヶ月です。

検察官の不起訴処分
に不服のとき

裁判所は検察官からの起訴がなければ、犯人（被疑者）を処罰できません。犯罪の被害者や告訴・告発した人で、検察官の不起訴処分について不服があるときは、検察審査会に申立てができます。

詳しいことをお知りになりたい方は、選挙管理委員会（☎84）1211 内線2111）又は、八日市場検察審査会事務局（☎72）1300）にお問い合わせください。

不起訴は
納得でき
ない。

